

石川県海岸設計津波検討会

会 議 概 要

1. 日 時：令和6年9月6日（金） 10：00～11：00
2. 場 所：石川県庁11階 1110会議室（WEB会議併用）
3. 出席者：宮島委員、由比委員、西出委員、柴田委員、吉田委員（代理者出席）、桜井委員
平松委員（欠席）
4. 会議次第
 - (1) 開 会
 - ・ 事務局の司会進行により開会された。
 - (2) 挨 拶
 - ・ 石川県土木部長の桜井委員から挨拶が行われた。
 - (3) 議 事
 - 1) 石川県海岸設計津波検討会 資料説明
 - ・ 事務局より検討会資料に関する説明が行われた。
 - 2) 質疑及び意見交換
 - ・ 各委員からの主な質疑・意見内容については、次頁以降に示す。
 - (4) 閉 会
 - ・ 事務局の進行により閉会された。

1) 事務局より、「資料2：石川県海岸設計津波検討会資料」の説明が行われた。

2) 各委員からの主な質疑・意見

・当日欠席の委員からの意見を事務局より報告（事前説明を行い意見聴取）

基本的な整理の仕方は、事務局案でよい。F43断層が今回の能登半島地震の原因であるという考え方については、妥当である。

・基本的な考え方・整理の仕方については問題ない。

「4. 今次津波の評価」で代表的な地域海岸のみで評価されているが、海岸全体での整理が必要と考える。（委員）

→（事務局）参考資料にて、その他の地域海岸での整理結果を説明した。

今後、新たな知見が得られた際は、その知見を踏まえた再整理をお願いしたい。

・舳倉島の津波痕跡について補足する。現時点で公表されている津波痕跡データでは、3m程度の痕跡高となっているが、4月に別に行った調査では、防波堤が無い場所で痕跡を調査したところ、5～6mの痕跡高が観測されており、F43断層に近い津波を観測している。（委員）

・防波堤がある場所は3m程度、防波堤がないところは5～6mということか。（委員）

→そのとおりである。（委員）

・まとめとして、今回の津波は、最大クラスの津波（L2）相当の津波であり、設計津波の水位（L1）の対象津波としない。設計津波の水位は現行のとおりとすることが了承された。

以 上